

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	経営システム工学特論		
英文授業科目名	Advanced Management Systems Engineering		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-システム工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	システム工学専攻		
担当教官名	松井 正之		
居室	西5-505		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】

製品やサービス（情報含む）を社会に提供する企業などにとって、生産は基本的な機能であり経営システムを理解するために極めて重要である。生産を中心としたマネジメントの研究は、科学的管理法の父であるテイラーの「時間研究」（1881年）から数えて100年以上になる。科学的管理法はメイヨーのホーソン工場実験などによって修正を受けたが、現在でもマネジメントの基礎となり、経営システム工学として発展している。

本講義では、経営工学、経営システム工学分野におけるマネジメント論を、システム・アプローチの観点から講述する。この分野は、まだあまり体系化されていないが、種々のシステムのマネジメントにおける基礎として重要である。最初に、3M&Iシステムを対象とした一般マネジメント論を述べ、次に、生産企業を対象とした確率的マネジメントアプローチを展開する。講述にあたっては、理論を展開しながら、各種管理技術（ソフト技術）を例にとって参照して進める。

【前もって履修しておくべき科目】

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】

以下の書物等を参考書として掲げる。その他の参考文献は、講義の中で提示する。

1. 松井・由良著「基礎経営システム工学」共立出版, 2002

電気通信大学 平成19年度シラバス

2 . 松井正之著「生産企業のマネジメント - 利益最大化と工場理学」共立出版, 2005

3 . M. Matsui, "Stochastic Management and Design of Manufacturing Systems" (資料)

【授業内容とその進め方】

I. Introduction

II. Stochastic Management Model

III. Stream Risk Process

IV. Flexible Risk Process

V. Ellipse Management with Risks

VI. Demand and Supply Risky Chains

VII. Emerging Challenge

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価は、出席日数と2～3回のレポート等に基づいて総合的に行う。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けないが、適宜相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

この講義では、将来、経営管理者になるための必須事項について講述するので、できる限り履修して下さい。

【その他】